

## 第1回 拡大地質技術者会議を開催しました

### ーインハウス土木地質技術者による技術会議の立ち上げー

土木研究所では、国土交通省関連の技術行政に関わるインハウス土木地質技術者が、地質リスク等の課題に対して情報共有・対策検討・技術研鑽等を行うため、「地質技術者会議」を新たに立ち上げました。

地質技術者会議の構成は、コア会議（土木研究所の地質研究監・地質関係上席）、本会議（土木研究所の地質技術者）および拡大会議（土木研究所及び水資源機構の地質技術者）からなります。

今回、第1回拡大会議として、平成29年12月7日～8日に、土木研究所（つくば中央研究所、寒地土木研究所）及び水資源機構の地質技術者が参加し、現地見学会（南摩ダム）ならびに会議を実施しました。

会議では、各組織のインハウス土木地質技術者が減少し、地質技術者・土木技術者ともに技術力の低下や現場での地質リスクの見逃しが懸念されることを踏まえ、これに対応するため組織間連携により技術施策の提案や技術研鑽等を進める必要があることなどを確認しました。

今後の拡大会議については、年1回程度実施し、現場事例の検討や連携により技術研鑽や中長期的な技術課題の解決を図っていくこととします。平成30年は寒地土木研究所のある北海道で行う予定です。

【開催日時】平成29年12月7日～8日

【開催場所】12月7日 午後：水資源機構南摩ダム現地見学（栃木県鹿沼市）

12月8日 終日：水資源機構総合技術センター（埼玉県さいたま市）



写真 集合写真（南摩ダムのボーリングコアとともに）

12月7日 南摩ダム現地見学（ダムサイトおよび貯水池周辺斜面の現地見学・コア観察）

南摩ダムは、水資源機構が利根川水系思川の左支川の南摩川に建設中のコンクリート表面遮水壁型ロックフィルダム（CFRD）です。南摩ダムでは、ダムサイトおよび貯水池周辺斜面の現地見学、調査ボーリングコアの観察・議論を行いました。



写真 ダムサイトの見学



写真 調査ボーリングコア観察

12月8日 水資源機構総合技術センター（会議・施設見学）

2日目は水資源機構の総合技術センターにおいて、各組織の課題や話題提供、中長期的な技術的課題および地質重要性の理解・普及等について、有意義な意見交換や情報収集を行うことができました。

会議の後、水資源機構総合技術センターの各実験施設（水理実験場・コンクリート試験施設・フィルダム材料試験施設・土質試験施設）を見学するとともに、ダム操作シミュレーターの概要紹介を受けました。



写真 会議状況



写真 実験施設の見学

今後も年1回程度で拡大地質技術者会議を開催していくこと、参加メンバーは今回と同様、土木研究所（つくば中央研究所・寒地土木研究所）・水資源機構の地質技術者とし、さらに他機関の地質技術者等も加えた会議とすることを確認しました。

引き続き、当会議を通して、現場での地質リスク等の課題に対して情報共有・対策検討・技術研鑽等を行っていきます。